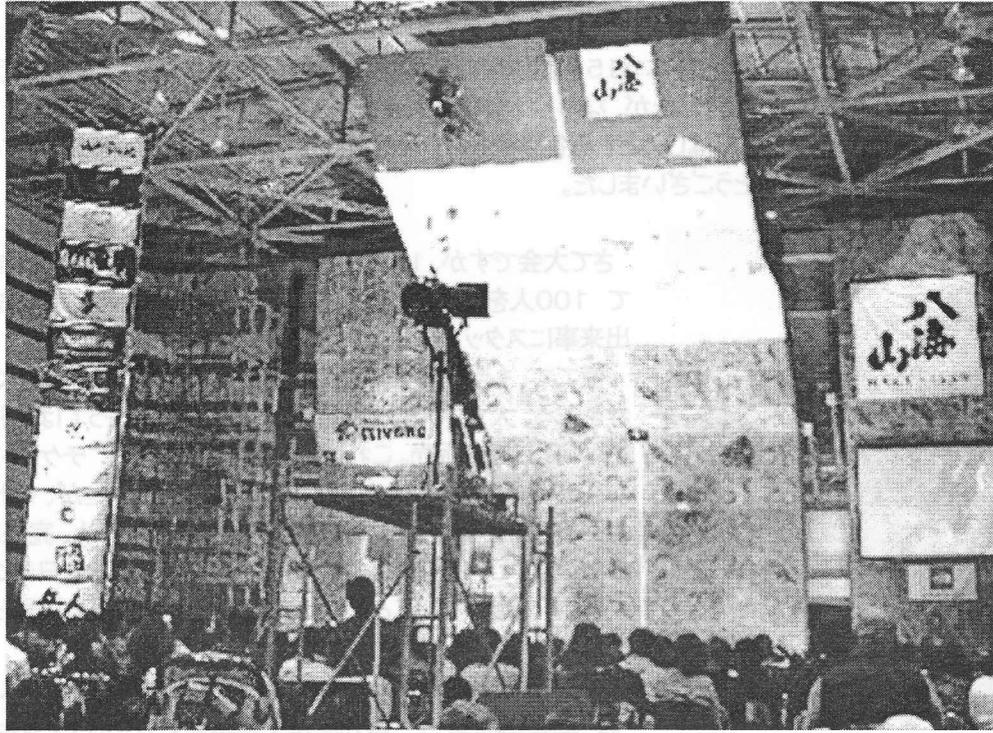


埼玉県山岳連盟  
埼玉岳連報 第29号

発行者 田中 文男  
発行所 埼玉岳連事務所 村岡正己方  
〒340-0211  
鷺宮町鷺宮団地1-28-407  
編集人 岩井田 正昭  
発行部数 1600部



アートモリの意気込みを感じるWCの壁

### 日本の世界標準

理事長 村岡正己

昨年は、大きな事業が目白押しで、思い返しても良くやったなという思いで一杯です。

引き受けたからには、上手く行って当たり前の中、成功裏に導けたのも埼玉岳連の皆様の実力の高さと考えております。そして、今年度も少しで終わりといたします。

来年度の目標は、新しい岳連の運営スタイルと事業企画の模索となるでしょう。国体などの大きな変化も聞こえてきています。あらためて岳連皆様のご協力をお願いいたします。

さて、私が一番関わった事業になってしまいました。ワールドカップで感じたことを少し書かせていただきます。

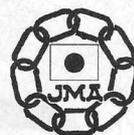
ワールドカップ2日目、松葉杖をついたお客様が私の前を通過されました。会場は大盛況で、座る場所はないであろう。どこかご案内さし上げなくてはと思いつつも打合せ中だった私は即座に対応できず、会場に戻ったときには見失ってしまいました。

今回のクライミングワールドカップは日本で15年ぶりの開催でありましたが大盛況に終わり、選手・お客様・各関係機関より多大な評価を頂いております。

ただ先に申し上げましたように、配慮が足りないことも多く反省として次回に繋げたいと思っております。

次回？そうです。また、ありますよ。

IFSC  
CLIMBING  
WORLD CUP



2007.11.17

### Climbing World Cup 2007 KAZO 大会報告

CWC07 実行委員会  
副実行委員長  
村岡正己

今回のクライミングワールドカップは、日本で15年ぶりの開催。前大会(神戸 1993)の運営に関する資料は、ほとんど残っておらず手探りの準備がつつきましたが、なんとか無事に大会を終えることができました。ここに、開催地である“加須市”、特別協賛の“八海醸造”をはじめとする各協賛各社、各協力会社・団体、加須市ボランティアの皆さんにあらためて感謝申し上げます。ありがとうございました。



さて大会ですが、10月14日(決勝)、朝早くから会場に当日券を求めて100人を超える観客が並ぶというクライミング競技始まって以来の出来事にスタッフ一同、ビックリ。

慌てて、もう一度当日券の発行枚数を検討、混乱を防ぐために整理券を配る。大人100枚、高校生50枚、場合によっては高校生を大人に切替可としての販売。これは10月12日(金)に“チケットぴあ”の販売が、500枚を超えたという情報に予想はしていたが、それをはるかに上回る状況となった。12日には即座に発売を停止、完売と当日券残り少ないという内容でホームページへアップする。当日券の枚数をハッキリと打ち出せないことが混乱を招いたか?今後の課題としたい。

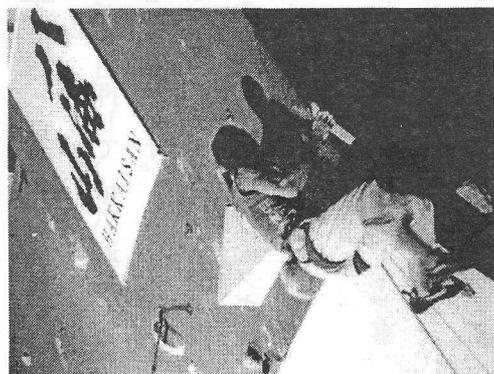
さらに、競技が始まると会場は観客で埋め尽くされ、すし詰め状態。安全管理として、当初会場入場者数を1000人(選手、関係者含む)で設定していましたが、はるかにそれを超えた入場者数(1300人)に、盛況でよかったという思いと、何も起こらないでくれという複雑な気持ちであったことは確か。



そして、世界クラスの選手のフィジカルの強さは、クライミングをやっていない観客をも魅了するほどの凄さで、そのパフォーマンスに観客は徐々に引き込まれていった。”

ウォー“というどよめきに(驚き?)に近い歓声を選手も肌で感じるのか、パフォーマンスと歓声がるで演出をしているかのように一体となっていった。

男子決勝 Tomas Mrazek(CZE)が、未だ誰も越えてない核心部を足が外れながらも越え、次のホールドで、観客に見せたガッツポーズは、観客の歓声を最高潮に導いた。



※ 本『WC CUP 2007 KAZO』大会報告書は別冊として作成中です、詳細については県山岳連盟・事務局へ御問い合わせください  
:A4判・カラー12ページ

平成19年度

日本山岳協会《自然保護委員総会》報告

去る11月3、4日(土、日)に埼玉県山岳連盟 主催にて埼玉県秩父市・三峰神社にて自然保護委員総会が165名の参加のもと盛大に開催されました。

私たちが自然保護委員数名は前日に三峰神社に集合して大会に間に合わせるべく準備を進め何とか大会当日を迎える事が出来ました。

受付もスムーズに進み総会も13時10分に開会宣言にて開催されました。主催者(社)日本山岳協会会長、自然保護委員長、挨拶 主催者代表の挨拶も終わり議長選出後、議事に入ります。

(1) 日本山岳協会自然保護委員会事業報告

松本国際山岳自然環境会議 2007 報告

19/10/7 松本市

(社)日本山岳協会自然保護指導員

登録者数の報告 指導者がいない県もあり働きかける事が決議される。平成19年度事業が資料に基づき報告され、現在までの主な検討議題

- 1. トイレについて
- 登山者とトイレについて
- 山小屋とトイレ(し尿処理問題)

- 2. 林道と自然破壊について(この山に林道は必要か)
- 3. スキー場と自然破壊
- 4. 酸性雨問題
- 5. 高山植物の保護の問題

- 6. 日本山岳協会自然保護指導員制度について
- 日山協 自然保護指導員の手引き(素案) 説明がありましたが、意見があれば年内までに申し出る事。

- 1. 自然保護憲章
- 2. 日山協 自然保護指導員規定

- 3. 日出協 自然保護指導員規定取扱詳細

- 4. 自然保護指導員の仕事

- (1) 指導員の役割
- (2) 指導と対応の実際
- (3) 具体的な指導の例
- (4) 指導員の心得

- 5. 自然保護をめぐる法律の体系
- 6. 自然保護関係法律の指定・基準・管轄等
- 7. 自然公園の規制事項 (国立公園・国定公園・都道府県立自然公園)

- 8. 自然保護者と登山者のマナー
- 9. 山のトイレをよくする松本宣言
- 10. 山のトイレ 四つの約束
- 11. 各都道府県の自然保護関係窓口一覧
- 12. 日山協 都道府県岳連(協会) 事務所
- 13. 状況報告書 説明がありました。

- (2) 各県山岳連盟(協会) 活動状況等について(情報交換)
- 自然保護活動の取り組み、活動が県岳連 自然保護委員から報告された
- つぎに、大会スローガンの趣旨説明後、大会スローガンが読み上げられる
- 《奥秩父の原生林と渓谷を守り、綺麗な

空気 水 大地 を未来に繋ごう》

次期開催地も決まり(大阪) 盛況のうちに休憩後、基調講演にうつる。

演題 『奥秩父の自然と風上』

千嶋氏(秩父市文化財保護審議委員会)

夕食・懇親会は165名全員が席に座ると、さすがに広い部屋も狭く感じるほどであった。

顔馴染み、何時ものメンバーと初顔の人などそれぞれが美酒に酔い心やかな宴になった。

翌日も朝から天気に恵まれ其々のオプション登山に出発していった。

各関係者、日山協、県岳連協会、埼玉県山岳連盟山岳会等、多くの方の協力に感謝申し上げます。ありがとうございます。

埼玉県岳連 自然保護指導委員会

委員長 山口 定男



自然保護委員総会で開会挨拶する田中会長

当総会に關した正式報告は『登山月報』第466号『2007年自然保護全国委員総会報告』を参照ください、3ページにわたり記録報告があります。

◎ 埼玉県岳連・派遣参加役員・委員参加者

◎ 日本山岳協会

田中(日山協・会長)、浅見(日山協・自然保護副委員長)、山口(埼玉実行委員)、三ツ木(埼玉実行委員)、

◎ 埼玉県山岳連盟

中田(副会長)、森下(副会長)、村岡(理事長)、天野(副



約170名近くの委員参加の懇親会々場

理事長、大倉(事務局長)、小茂田(強化委員長)、長谷川(国体委員長)、塩谷(海外委員長、大石、高岡(高校総体実行委員)、岩井田(広報委員長)、柳原、岩崎、板橋、柴田、堀江、秋元、桜井、仙波、柳下、新井、鈴木、斎藤(自然保護指導員・実行委員)

◎ 埼玉県山岳連盟・指導委員

山村、栗原、村上、浅野、斎藤、杉浦、秋吉、柳沼(桜草山の会)、土屋、斎藤、横田、井上(加須市山岳連盟)、大野、渡辺、栄野(戸田山の会)、平田(エコー山の会)、鎌田(大宮A.C.)、新井貞、逸見、新井政、天井(秩父)

市山岳連盟、計良(東部登高会)、相馬、中田、室賀(深谷山岳会)、富田、石塚(蕨市山岳連盟)、井原(岩槻・槻岳会)、相沢、柴崎(川口市山岳連盟)

敬称略・順不同 文責 岩井田正昭

《海外登山委員会》

創立10周年記念誌 刊行記念祝賀会 報告

2007年、年明けから、関東ブロック大会のコース整備に始まり、7月・関東ブロック大会、8月・ナンガパルバットBCトレッキング、10月・ワールドカップ11月・自然保護全国委員総会等々、目白押しの県山岳連盟行事に追い討ちをかけるように行なわれた祝賀会にご多用にも拘らず、県山岳連盟関係の方々には多数ご出席戴きました。

また、茨城県山岳連盟、栃木県山岳連盟の皆様にも遠方よりご出席戴き、盛会のうちに行なうことができましたことを、お礼申し上げます。

開会に先立ち、2006年7月、第2次海外登山委員会の発起人で委員会を牽引し、《埼玉2006ナンガパルバット登山隊》の副登山隊長、西壁に消えた小澤直宏氏に、黙祷を捧げ、一日も早い帰国を祈念いたしました。

《挨拶》ご祝辞に引き続き、《埼玉県山岳連盟マカールI峰登山隊1998》、《埼玉2001スパンティーク登山隊》、《埼玉2006ナンガパルバット登山隊》、各隊毎に10分程度、映像を交えた臨場感溢れる報告があり隊員の悲喜交々の思いが伝わってきました。

祝賀会からそのまま懇親会へと移行。お祝いのご酒も入り、元埼玉県山岳連盟海外部長・田山氏から「登山とは何か」「海外登山とは」と舌くち、新しい永遠の命題のメールを戴き、また、現委員の飯塚氏から「幻のナンガパルバート」の熱き思いが語られました。

飲むほどに酔うほどに、想い出は、お話は尽きず、大いに宴は盛り上がり、時の経つのも忘れてしまいました。ふと目を窓の外に転ずれば、澄み渡った大空、すつくと響える、あの特徴のある武甲山が遠望できます。

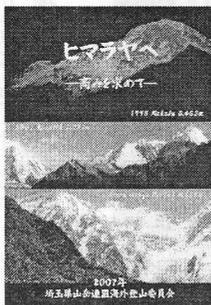
今日は、山やさんにピッタリの登山日和、貴重な一日をこの祝賀会のために割いて戴いた事に、改めて感謝いた

します。

ご参加の皆様本当にありがとうございました。また、豪華なお祝いの電報をありがとうございました。

平成19年11月吉日

海外登山委員会 委員長 塩谷壽子



発行された記念誌  
『ヒマラヤへ』高みを求めて  
A4版 250P (カラー18P)



祝賀会参加者全員で

埼玉県山岳連盟主催

【積雪期登山講習会・指導員研修会】報告

文・写真 佐藤 求

1・趣 旨 積雪期登山の安全登山普及と技術向上を目的とする

2・期 日 平成20年1月19日(土)～1月20日(日) 一泊二日

3・会 場 那須岳周辺

4・指導講師 主任講師・佐藤博 日本山岳ガイド協会認定山岳ガイド(上級登攀ガイド)

クラス別講師(埼玉県山岳連盟所属)

日本体育協会公認指導員

あゆむ山の会では金子 昭、佐藤 求、秋庭 栄

(日本体育協会公認上級指導員)

5・宿泊場所 那須マウントホテル TEL.0287(76)4111

\*大丸温泉駐車場より徒歩で5～6分

6・参加費用 積雪期登山講習会18,000円

(講習費・一泊2食付宿泊費)

指導員研修会10,000円(一泊2食付宿泊費)

7・参加者 CL佐藤 求、SL金子 昭、野村 善弥、秋庭 栄、佐藤 博、宮関ますみ、菊地 昌代、他

3名、その他29名(総勢40名)

今回、会からの参加者は11名。車三台に別れて現地に向かう。現地ホテルロビーに10時集合にあわせて、計画責任者野村善弥・埼玉県山岳連盟指導委員長のため那須マウントホテルに8:40分に到着。今回は総勢40名。早速開校式(10:30)。あゆむ山の会員にはビーコンを装着させる。秋庭講師の下、準備運動。講習現地向かう。昨年より雪が少ないが、笹藪が出るところもありラッセルに時間がかかる。

早速佐藤博・主任講師のもと講習開始。本日はアイゼンなしの基本歩行(登下降、斜登下降、トラバース、方向転換、キックステップ)、アイゼン装着しての基本歩行、滑落停止、台風姿勢、緊急避難など行うがみな真剣に積極的に行うため時間のたつのが早い。来年は指導員養成検定があるためかみな真剣に行っている。私は初心者担当のため講習内容を一部変更して基本歩行の後に台風姿勢、滑落停止を行った。本日はまずまずの天候であるが講習場所には時折突風も吹いてくる。また斜面も滑落する要素を含んでいるため、初心者がまず自身で身の安全を確保する技術を実につけさせなければならぬ。出発前に佐藤博・主任講師よりなぜこうするか、なぜこうしなければならぬのか、理解しながら行っていくと言われた。初心者組みもただ、こおやれあやれと言うのではなく、なぜ滑落停止が必要か、しっかり見につけ覚えれば具体的にこのようなレベルアップもする。



スノーアンカーの取り方などを講習



斜面を使って基本歩行訓練

覚えるだけでなく将来は指導員になり教えることも考えてこつ、特徴を説明しながら言葉に出して行っていく。初心者は初心者なりに目標を持って行うことでより積極的に身に着ける早道にもなる。上部斜面には研修組、中上級指導者が気合を入れて盛り上がりつつある。頭上には茶臼岳、右手には鬼面山、朝日岳遠く那須高原が望める。下山後そのまま大広間で瀬藤武・埼玉県山岳連盟遭対委員長より座学の講習を受ける。夕食は計良指導員の司会で懇親会とともに各会の紹介をする。あゆむ山の会は秋庭会長がメインで進行。翌日も前日同様スカッと晴れないが、あまり風もなく時折小雪舞う中会場に向かう。初級組みも本日はロープワークを取り入れレベルアップ。その前に机上講習でロープ結束を5点ばかり覚えてもらう。遅れて現地に向かう。下から講習会場を眺めると大勢で圧巻である。現地に着くと佐藤博・主任講師の下大変盛り上がりつつある。



宿に戻って座学 左から・佐藤主任講師。  
野村指導委員長、鈴木・牧野・瀬藤講師

われわれ初級組も昨日の復習をして、ロープワークに入る。やはり初級組ながらロープワークを行うとより盛り上がりつつあるのがわかる。研修組、中上級指導者はスタンディング・アックス・ビレイから事故脱出、システム2/3引き上げを行っている。われわれの組はスタンディング・アックス・ビレイで時間になってしまった。残りわずかな時間であるが気合の入った研修組、中上級指導者の講習を見学する。

下山後参加者に野村指導委員長より修了書が渡される。その後佐藤博・主任講師の講評。特に感じたことは「各会持ち帰り会員に教えていくことで自分の身につく」とを言い渡された。

昨年は現地での記念撮影を行ったが、今年は気合が入り全員で集まる時間が出来なかった。



宿泊ホルの大広間で参加者全員

野村指導委員長に頼み県岳連広報委員長の岩井田さんに渡すためにもどこかで一枚撮らせてくれどお願いしました。

いつも思うことですが、山を登ることは誰にでも出来ることですが、それに伴う登山技術は講習を受け学ばなければ覚えません。登山を少しでもより深く、より大きく楽しむためにも登山に伴う技術も学ばなければと痛感しました。その ようなことでここに来るメンバーはみな意欲的です、講師においても常に切磋琢磨していかなければ、講師として参加できなくなってしまう実感も味わいました。

※編集注 本報告書は、『あゆむ山の会』月報より転載しました。 写真提供・佐藤 求(あゆむ山の会)、天野賢一(遠峰山岳会) 敬称略

広報 岩井田 正昭

《各会情報誌発行の案内》

今回からすでにお寄せいただいた各会・クラブの情報誌(月報、年報、不定期報)を到着順にご紹介するコーナーです。各会による特色・カラーがでて、読んでみても楽しい情報誌です。簡潔に読んだ感想を載せてみたいと思います。

各会の動向を知る上でも是非発行した月報・年報をお寄せください。

【1】川口市登山同好会

同好会ニュース・第180回・平成19年10月20日発行 A3版(両面刷/4P) 運営委員会編集部 発行

背戸蛾廊・定例、房総御殿山・記念山行の計画、新人歓迎シダング山、還暦山行(那須三本槍ヶ岳、安達太良山・各山行報告。引越し案内、計報のお知らせ等多彩。紙面の大きさも然ることながら活字も大文字で読みやすく作られている、カットも沢山あり手作りの楽しさが充滿している。アットホームな月報。



埼玉県山岳連盟 平成20年2月

【常任理事会】 報告

報告2月12日(火)午後7時30分〜鴻巣高 武陽館  
0・出席 田中・森下・村岡・天野・加藤・岩井田・大倉・鎌田・小茂田・松井(10名)

1・開会挨拶(森下副会長)

2・挨拶(田中会長)

3・報告

(1) 積雪期登山講習会

↓天野

1月19日(土)・20日(日) 那須岳周辺・参加30+8(講師、佐藤主任講師の現地で講義の後直ぐに各班に別れ行動。終了後また佐藤主任講師の講義を受け新しい技術を直ぐに各班に別れ行動。を繰り返して効果があった。

課題としては、クラス分けて班内のレベルが均等にすることが出来れば良いが。

(2) 競技委員会ブロック別研修会 ↓村岡

2月2日(土)・3日(日) 山梨で開催

7月26日、27日では外の壁でリード、アリーナ内でボルダー(2面)になる。初めての関東でのボルダリング競技になるので運営面で課題・不安が有りそうだ。

(3) 第4回アイスクライミングジャパンカップ  
2月9日(土)〜10日(日) 群馬 ↓村岡

準決・決勝は下2mが氷でその上はコンパネ。上の方は角材に極小ホールドがありそれを引っかけて登る。M10レベルで見ている分には面白いが、アイスクエストリーム(運営主体)と群馬岳連の連携や、レギュレーション運用等運営上問題が多いと感じた。

(4) その他

4. 協議

(1) 海外登山技術研究会

↓天野

2月16日(土)・17日(日)

オリンピック記念青少年総合センター…資料

出席予定:塩谷、天野、加藤、岩井田、鳥

(2) 関東地区山岳連盟連絡協議会 ↓

2月23日(土)・24日(日) 『ラフレさいたま』

資料。(現)会議出席:40名、懇談会出席:38名、宿泊:37名

(3) 積雪期緊急避難講習会開催 ↓

3月1日(土)・2日(日) 谷川岳登山センター付近:資料

(4) 氷雪技術に関する「指導員の教育と研修」及び「主任検定員養成講習会」 ↓

3月21日(金)〜23日(日) 富士山:資料

(5) H20年度評議員総会・開催:大倉

①日程4月20日(日)会場:大宮ソニック

②各委員会毎の事業報告・会計関係:次回理事会で報告をお願いします。

③所属団体・組織・役員(H20年〜21年度の役員・理事体制)等、次回理事会までに分かれば報告をお願いします。

④各委員会毎の事業計画:次回理事会で報告をお願いします。

⑤新規事業計画:

(A) 県民大会

1、KazoCup(国体選手選考) 2、ボルダリング(国体選手選考) 3、コバトンカップ(強化選手選考) 4、学総体クライミング(IOC選手選考)、

(B) トレイルラン検討

⑥ 他

(7) 各部からの報告等

(6) その他

(5) 各部からの報告等

(4) 各部からの報告等

(3) 各部からの報告等

(2) 各部からの報告等

(1) 各部からの報告等

(0) 各部からの報告等

(-1) 各部からの報告等

(-2) 各部からの報告等

(-3) 各部からの報告等

(-4) 各部からの報告等

(-5) 各部からの報告等

(-6) 各部からの報告等

①指導委員会

②国体委員会

③クライミング委員会

④選手強化委員会 :小茂田 資料

⑤遭難対策委員会 :2月2日(土)・3日(日) 秋田レスキュー講習会に瀬藤、他30数名参加

⑥自然保護委員会 :総会開催、現・山口委員長が自身都合により来期は辞退したいとの意向表明、委員会にて協議。(委員長:岩崎、副委員長:三ツ木、柳原) 3名の次期役員を委員推薦し賛成多数により決定。

『三ツ木分校』の運営について:次回理事会で具体的に検討

⑦海外登山委員会

⑧ジュニア委員会:鎌田2月16日(土)〜18日(月) 安達太良山雪洞泊山スキー&輪カンジキ

⑨広報委員会:岩井田『埼玉岳連報29号』2月29日発行。

⑩企画委員会 :村岡

⑪事務局:左記の2名を推薦・受賞予定  
・ 県体協功労賞:加藤(深谷山岳会・所属)  
・ 県体協優秀選手賞:角田

加須クラブ(KSCC) 袖山・川越にクライミングジムをオープン予定:4月12日

敬称略 議事録作成:大倉

3月11日(火) 鴻巣高・武陽館

午後7時30分〜 臨時常任理事会を開催

午後8時〜 理事会

4月 8日(火) 鴻巣高・武陽館

午後7時30分〜 常任理事会

4月20日(日) 大宮・ソニックシティ

平成20年度評議員総会・時間未定

平成19年年度

氷雪技術に関する「指導員の教育と研修」

及び「主任検定員養成講習会」開催要項

主催 社団法人日本山岳協会

I 研修会・主任検定員養成講習会共通項目

- 1. 期日 平成20年3月21日(金)〜23日(日)
- 2. 会場 山梨県富士吉田市 富士山5合目付近
- 3. 宿泊 5合目佐藤小屋、1泊2食付1,500円で2泊します。(各自負担)

4. 日程

第1日目：3月21日(金) 集合受付・富士吉田駅10:30、富士吉田駅発11:00、5合目着16:00、オリエンテーション・事前討議18:00〜20:00  
 第2日目：3月22日(土) 実技研修・講習7:00〜15:00、実技の検討18:00〜20:00  
 第3日目：3月23日(日) まとめ 7:00〜13:00、5合目解散13:00

尚、研修会と主任検定員養成講習会とは、基本的に別になります。

5. 携行品など

(1) 参加者は冬期登山に適した服装・装備で、更に次のものを準備して下さい。

- ① 第1日目から第3日目までの昼食(行動食)と非常食
- ② 登山用ロープ(2人で1本の割合)、スリング、カラビナ等の登山用具
- ③ 筆記具、検定基準(現地でも頒布します。500円)

(2) 参加者は予め検定基準などについて内容検討しておいて下さい。

- 6. 参加募集人員 研修30名、主任検定員講習10名
- 7. 申込み 別紙の参加申込書に必要事項を記入し、

3月16日までに日出協事務局宛てに送付。

電話 03-33481-2396 FAX 03-3481-2395

8. 現地連絡先

富士吉田市内 佐藤保様宅 0555-28-1807  
 富士山5合目 佐藤小屋 0555-22-1945

9. その他

- (1) 山岳共済の加入が条件です。
- (2) 派遣要請書の必要な方は、申込書にその旨をお書き下さい

II 研修会

- 1. 参加資格 公認指導員の資格を有する者。または岳連協協会会長より推薦された者。
- 2. 研修内容 雪上技術の実践を通して、確保およびセルフレスキュー等の問題点を検討する。
- 3. 参加費 2,000円

III 主任検定員養成講習会

- 1. 参加資格 上級指導員以上で検定の経験のある者。または上級指導員以上で岳連(協会)会長より推薦された者。
- 2. 講習内容 個々の技術講習ではなく、検定経験者が今後更に検定するための方法を確認する。
- 3. レポート 『自分の経験に基づいて、検定評価について述べよ』(約1,000字、および自分が行った「検定実績一覧」(様式自由)を3月16(日)までに日出協事務局宛てに送ってください。
- 4. 参加費 5,000円(会費資料実費代)

以上

詳細については埼玉県山岳連盟・事務局または山岳連盟・指導委員会へ御問い合わせください。

【事務局短信】

①平成19年度・埼玉県体育賞は前県岳連事務局局長の加藤富之氏(深谷山岳会所属)、及び優秀選手賞はワイルドカップ19位・角田大樹選手がそれぞれ受賞されました。おめでとございます。

②第22回二子山開山式 開催のお知らせ  
 日時：平成20年4月29日(昭和の日) 午前10時  
 会場：二子山股峠(広域基幹林道から徒歩5分)  
 主催：二子山の自然を守る会/小鹿野山岳会/小鹿野両神観光協会

③全日本登山体育大会 北海道大会 開催のお知らせ  
 日時：平成20年7月11日(金)〜13日(日)  
 会場：十勝岳連峰

《新刊発行案内》

海外委員会刊行記念祝賀会の同日発刊された『遠き峰を夢見て』小澤直宏追憶集は同編集委員会により発行。A4版・176p(カラー20p)。  
 若干残部数あります。海外委員会へ直接問合せください。



【編集後書】

昨年の超多忙を極めた各種のイベント、行事、講習会は間もなく3月で終了。どうにか広報誌29号発行の目途がつきやと一息。昨日から春一番が吹き荒れ、間もなく山の春便り。雪山をしばらく歩いていないので。次週辺りスノートレッキングに出かけよう。

広報委員会 岩井田 <miwaida@mna.biglobe.ne.jp>